

事務事業実績測定調査

事務事業名称	「なんでも、どこでも出前塾」実施事業													
測定年度	2020 (R2) 年度				部	観光にぎわい部				課	文化生涯学習課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち											
	施策目標		17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち											
	実行計画名		17-3.生涯学習活動の支援											

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業	
事業期間	2005 (H17) 年度		年度	~	年度まで	
根拠法令等	決裁					
関係補助金名称					サンセット	~
関係附属機関名称						
事業対象	メインターゲット	生涯学習活動をしたい者。				
	サブターゲット					
	ターゲットが抱える課題	市政等に関して学ぶ手段が少ない				
	ターゲットが抱える課題					
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市民が必要とする生涯学習情報や市政に関する情報を提供することにより、市民が主体的に生涯学習活動ができています。					
事業概要	各施策担当課職員が市民団体に出向き、市政について等を説明する「職員による出前講座」と生涯学習に係る情報を市HPで発信する「学びの情報ひろば」を組み合わせた事業。					

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
	市民が主体的に生涯学習活動ができる。					市民が必要とする生涯学習情報や市政に関する情報を手に入れることができる。				「職員による出前講座」を実施する。			
指標設定	指標説明					出前講座 実施回数				出前講座メニュー数			
	満足度(実施報告書より) 実施報告書に満足であったと回答した割合。 【算出式:「満足」と回答した開催講座数/開催講座数×100】 項目:「満足」「普通」「不満」					単位				単位			
	単位					単位				単位			
	%					回				件			
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	R2					R2				R2			
	R3					R3				R3			
R4					R4				R4				
R5					R5				R5				
目標(見込み)					140				120				
実績					28				121				
達成度					20%				101%				
分析					新型コロナウイルス感染症の影響により、申し込みがあったのにキャンセルした件数が多かったが、実施された市民の満足度は極めて高かった。				新型コロナウイルス感染症の影響により、申し込みがあったのにキャンセルした件数が多かった。概ね達成したといえる。				
ロジックモデル②	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
	市民が主体的に生涯学習活動ができる。					市民が必要とする生涯学習情報や市政に関する情報を手に入れることができる。				「学びの情報ひろば」を実施する。			
指標設定②	指標説明					HPアクセス件数				「学びの情報ひろば」HP掲載件数(講師紹介件数+登録団体件数)			
	満足度(実施報告書より) 実施報告書に満足であったと回答した割合。 【算出式:「満足」と回答した開催講座数/開催講座数×100】 項目:「満足」「普通」「不満」					単位				単位			
	単位					件				件			
	%												
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	R2					R2				R2			
	R3					R3				R3			
R4					R4				R4				
R5					R5				R5				
目標(見込み)					1,200				1,200				
実績					793				724				
達成度					66%				60%				
分析					新型コロナウイルス感染症の影響により、申し込みがあったのにキャンセルした件数が多かったが、実施された市民の満足度は極めて高かった。				新型コロナウイルス感染症の影響により、アクセス件数が想定よりも少なかった。				
					新型コロナウイルス感染症の影響により、アクセス件数が想定よりも少なかった。				新型コロナウイルス感染症の影響により、施設利用可能日が少なく、想定よりも少なかった。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.13
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	2,881	1,042	1,037		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	24	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	2,905	1,042	1,037		
	物件費計	11	11	15	14	107%	
歳出計		2,916	1,053	1,052			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	0	0	0		
一般財源		2,916	1,053	15	14		

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の影響により、生涯学習市民センターの閉館はもとより、集合形式での学習の機会が著しく制限され、市民が主体的に学習することができる環境を整えることが出来なかった。次年度についても、その影響はあるものと考えられる。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き市民が必要とする生涯学習情報や市政に関する情報を提供するため、本事業を継続実施する。また、「学びの情報ひろば」については、より多くの生涯学習に関する情報を提供できるよう努める。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	ひらかた人形劇フェスティバル支援事業												
測定年度	2020(R2)年度				部	観光にぎわい部				課	文化生涯学習課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4					
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち										
	施策目標		17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち										
	実行計画名		17-1.総合文化芸術センターの整備と市民文化の発信										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業	
事業期間	1990(H2)年度		年度	~	年度まで	
根拠法令等	決裁					
関係補助金名称					サンセット	~
関係附属機関名称						
事業対象	メインターゲット	普段人形劇に触れる機会のない市民(保護者・子ども)				
	サブターゲット	市内や市外の人形劇団				
	ターゲットが抱える課題	普段人形劇に触れる機会がない				
	ターゲットが抱える課題					
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	ひらかた人形劇フェスティバルを通じて市民に人形劇の楽しさを味わってもらうことができる。					
事業概要	枚方人形劇連絡会、枚方市、(公財)枚方市文化国際財団、指定管理者の4者で「ひらかた人形劇フェスティバル実行委員会」を組織し、毎年3月に「ひらかた人形劇フェスティバル」を開催している。					

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
ロジックモデル		普段人形劇に触れる機会がない市民に人形劇の楽しさを味わってもらう。				ひらかた人形劇フェスティバルに市民が来場する。				ひらかた人形劇フェスティバルを開催する。			
指標設定	指標説明	満足度(来館者より)アンケートにより満足であったと回答した割合。 【算出式:「満足」「概ね満足」と回答した人数/回答者人数×100】項目:「満足」「概ね満足」「やや不満」「不満」				フェスティバルへの来場者数				フェスティバル開催数			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	80以上	80以上	80以上	80以上	2,000	2,000	2,000	2,000	1	1	1	1
	実績	0				425				1			
	達成度					21%				100%			
	分析	新型コロナウイルス感染症の感染防止に配慮し、紙のアンケートを実施しなかったため、分析不能。				新型コロナウイルス感染症の影響により、参加人数を限定して開催した。				新型コロナウイルス感染症の影響があったが、規模を縮小し感染対策を実施したうえで開催した。			

3. 人員体制 (人)

	R2
正職員(再任用)	0.07
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	2,783	561	558	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	2,783	561	558	
	物件費計	267	0	0	0	—
	歳出計	3,050	561	558		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
一般財源		3,050	561	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の影響により規模を縮小して開催し、来場者アンケートは取れなかったが、パスポートは完売しており、満足度の高い事業を実施できたといえる。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、事業の認知度の向上を図り、街の魅力のひとつとして発信していく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	ふれあいホール運営事業												
測定年度	2020(R2)年度			部	観光にぎわい部				課	文化生涯学習課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4					
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち											
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち											
	実行計画名	17-1.総合文化芸術センターの整備と市民文化の発信											
1. 事務事業の概要													
種類	市民サービス			特性	選択的事业				区分	一般事務事業			
事業期間	1994(H6)年度			年度	～					年度まで			
根拠法令等	枚方市立生涯学習市民センター条例、枚方市立生涯学習市民センター条例施行規則												
関係補助金名称	サンセット												
関係附属機関名称													
事業対象	メインターゲット	出展者。											
	サブターゲット	ふれあいホールの来場者。											
	ターゲットが抱える課題	工芸・クラフト等の発表及び鑑賞の場が少ない											
	ターゲットが抱える課題												
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	適切にふれあいホールの運営ができており、美術作品の発表、鑑賞の場として市民の交流が深まっている。												
事業概要	市民に工芸・クラフト等の発表及び鑑賞の場を提供し、市民文化の向上に資することを目的に、市民の生涯学習活動を支援する為、ふれあいホールを設置し、市民の利用に供している。 ※ふれあいホールは総合文化芸術センターの開館と同時に廃止する。(2021年9月末)												
2. ロジックモデル及び指標設定													
ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
	美術作品の発表、鑑賞の場として市民の交流が深まる。				イベントに市民が来場する。				ふれあいホールでのイベント開催を行う。				
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
	指標説明	ふれあいホール利用率			ふれあいホール一般利用の展示会来場者数				ふれあいホール一般利用の展示会開催数				
	指標種類	増加することが良いとされる指標											
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	60以上	60以上	—	—	13,000	6,500	—	—	30	15	—	—
	実績	38.33				3,453				12			
	達成度	64%			27%				40%				
分析	コロナによる緊急事態宣言発出のため、4月～6月、12月～2月の間休館となったため、主催事業を含む展示会が中止又は延期となったことにより利用率が低くなった。				コロナによる緊急事態宣言発出、4月～6月、12月～2月の間休館となったこと、主催事業を含む展示会が中止又は延期となったこと等により来場者が減少した。				コロナによる緊急事態宣言発出のため、4月～6月、12月～2月の間休館となったため、主催事業を含む展示会が中止又は延期となったことにより展示会の開催が減少した。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.13
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.03
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	4,562	955	944		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	489	36	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	5,051	991	944		
	物件費計	0	0	0	0	—	
	歳出計	5,051	991	944			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	0	0	0		
一般財源		5,051	991	0	0		

5. 総括的分析

総括的分析	コロナによる緊急事態宣言発出等により、展示会が中止又は延期となり開催数が減少したが、アンケートの結果から、展示会に来場された大半の方に満足していただけたといえる。ふれあいホールは令和3年9月末をもって閉館となるが、閉館までの施設運営を適切に行う。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	終了
今後の取組方針	ふれあいホールは令和3年9月末をもって閉館となり、閉館後の施設等の運営・活用について検討する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	市民ギャラリー主催事業																	
測定年度	2020(R2)年度				部	観光にぎわい部				課	文化生涯学習課							
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4										
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち															
	施策目標		17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち															
	実行計画名		17-1.総合文化芸術センターの整備と市民文化の発信															
1. 事務事業の概要																		
種類	市民サービス			特性	選択的事業				区分	一般事務事業								
事業期間	1980(S55)年度			年度	～				年度まで									
根拠法令等	決裁																	
関係補助金名称												サンセット	～					
関係附属機関名称																		
事業対象	メインターゲット		美術鑑賞に興味がある市民															
	サブターゲット																	
	ターゲットが抱える課題		市内で美術鑑賞を行える機会が少ない															
	ターゲットが抱える課題																	
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	社会・市民のニーズを把握して、多くの市民の方に身近で気軽に美術鑑賞をしていただける展示会を開催できている。																	
事業概要	美術鑑賞活動と文化交流の場として、公募展、主催展及び企画展を開催する。 ※市民ギャラリーは総合文化芸術センターの開館と同時に廃止するが、引き続き、主催事業については総合文化芸術センターで実施する。																	
2. ロジックモデル及び指標設定																		
ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)									
	市民の美術文化の向上につながる。				公募展、主催展及び企画展に市民が来場する。				公募展、主催展及び企画展を開催する。									
指標設定	指標説明		満足度(アンケートにより) アンケートにより満足であったと回答した割合。 【算出式:「満足」「概ね満足」と回答した人数 /回答者人数×100】 項目:「満足」「概ね満足」「やや不満」「不満」				公募展、主催展及び企画展の来場者数				公募展、主催展及び企画展の開催数							
	指標種類		増加することが良いとされる指標				単位				人							
	指標数値		R2				R3				R4				R5			
	目標(見込み)		80以上				80以上				80以上				80以上			
	実績		98															
	達成度		123%				33%				33%							
	分析		開催した展示会に来られた大半の方に満足をしていただいております、引き続き開催をする必要があります。				コロナによる緊急事態宣言発出、4月～6月、12月～2月の間休館となったことにより、主催事業が中止となったことにより来場者が減少した。				コロナによる緊急事態宣言発出、4月～6月、12月～2月の間休館となったことにより、主催事業が中止となった。							

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.64
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.23
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	5,755	4,686	4,269		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	784	364	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	6,539	5,050	4,269		
	物件費計	827	671	100	943	11%	
	歳出計	7,366	5,721	4,369			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	0	0	0		
一般財源		7,366	5,721	100	943		

5. 総括的分析

総括的分析	コロナによる緊急事態宣言発出等により、展示会が中止又は延期となり開催数が減少したが、アンケート結果から展示会に来場された大半の方に満足していただいた。市民ギャラリーは令和3年9月末をもって閉館となるが、閉館までの主催事業を適切に行うとともに、芸術文化の継承のため総合文化芸術センターの美術ギャラリー主催事業への引継ぎを適切に行う。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	市民ギャラリーは令和3年9月末をもって閉館となるが、主催事業は本市の芸術文化継承のため美術ギャラリーへ引継ぎを行う。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	生涯学習市民センター維持管理事業											
測定年度	2020(R2)年度			部	観光にぎわい部			課	文化生涯学習課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4				
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち										
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち										
	実行計画名											

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2006(H18)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	建築基準法、消防法、建築物における衛生的環境の確保に関する法律、電気事業法				
関係補助金名称	Osaka Free Wi-Fi設置促進事業補助金			サンセット	~
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	生涯学習市民センター利用者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題				
	ターゲットが抱える課題	生涯学習施設の利用者が、安全で快適に利用できるように施設設備の修繕や保守点検を実施する必要がある。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	生涯学習施設の利用者が、安全・快適に利用ができています。				
事業概要	<input type="checkbox"/> 生涯学習施設管理 市内9箇所の生涯学習市民センター施設の清掃、空調設備・防災設備・電気設備・自家発電・エレベーター等の保守点検、夜間・休日の警備等の委託。施設の老朽化等に伴う修繕改修等の実施。 枚方市立生涯学習市民センター(全9施設)・楠葉生涯学習市民センター(枚方市楠葉並木)・サンプラザ生涯学習市民センター(枚方市岡東町)・さだ生涯学習市民センター(枚方市北中振)・御殿山生涯学習美術センター(枚方市御殿山町)・牧野生涯学習市民センター(枚方市宇山町)・牧野生涯学習市民センター牧野北分館(枚方市牧野北町)・津田生涯学習市民センター(枚方市津田北町)・菅原生涯学習市民センター(枚方市長尾元町)・南部生涯学習市民センター(枚方市香里ヶ丘)・生涯学習情報プラザ(枚方市車塚) [主な諸室] 集会室、料理室、ホール等 <input type="checkbox"/> 市所蔵美術工芸品の適正管理 所蔵する美術工芸品の状態を把握するとともに、美術作品の適正管理を行う。 <input type="checkbox"/> 各種基金実施事業 ・「枚方市植村猛アート基金」を活用し、本市の美術事業の充実を図る。 ・「枚方市大東清四美術品管理基金」を活用し、本市が所有する美術品等の継続的な保管・管理を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル						生涯学習市民センターが適正に維持管理されている。				必要な保守点検を実施する。			
指標設定	指標説明					修繕料、補修工事費に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【決算額/当初予算額】				臨時休館日(改修工事や保守点検、天災等を除く突発的な休館日数)			
	指標種類	単位				単位				単位			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)					100以内	100以内	100以内	100以内	0	0	0	0
	実績					70							
	達成度					70%							
分析					年度当初に予定した工事を予定通り実施することができた。								

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	1.52
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.70
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	23,179	13,337	11,720		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	1,761	1,171	1,810		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
	人件費計	24,940	14,508	13,530			
	物件費計	523,670	548,494	479,177	472,205	101%	
	歳出計	548,610	563,002	492,707			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	24,567	53,252		
	市債	0	0	17,100	34,200		
	その他	55,118	48,631	39	141		
	歳入計	55,118	48,631	41,706	87,593		
	一般財源	493,492	514,371	437,471	384,612		

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の影響で貸館事業が出来ない期間もあったが、利用者に注意喚起を行うなど、感染防止に取り組み業務を行った。また、照明や消防設備等に交換・修繕が必要なものが生じたが、適切に処理をした。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ○生涯学習市民センターの改修・修繕は、市有建築物保全計画に即して実施している。施設の現状を踏まえ、計画的に補修等を行っていく。 ○指定管理者制度による運営を行う施設における業務の執行状況等について、モニタリングなどを通じた適切な把握・指導・監督に努めていく。 ○中央図書館資料室、南部生涯学習市民センター及び御殿山生涯学習美術センターで保管している市所蔵美術工芸品の状態を把握するとともに、一元管理するため、総合文化芸術センターへ移動・集約していく。 ○基金については、本市の美術施策の充実並びに美術品等の継続的な保管・管理のために活用する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	生涯学習市民センター活動委員会事業											
測定年度	2020(R2)年度			部	観光にぎわい部			課	文化生涯学習課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4				
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち										
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち										
	実行計画名											

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2007(H19)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	~
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	生涯学習を行いたい市民			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	市民が学ぶ場、その成果を活用する場、つながりの場の環境を整える必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市民とセンター職員が連携・協力して地域の特色を活かした生涯学習事業の企画・立案・実施や交流の促進を行い、市民の生涯学習活動が推進されている。				
事業概要	市民とセンター職員で構成する活動委員会を、平成19年度から楠葉・さだ・御殿山・牧野・津田・菅原の各センターに、平成20年度からは南部生涯学習市民センターにも設置。地域の特色を生かした市民対象事業を実施してきた。活動委員会の構成は、市民からは①利用団体関係者、②地域活動に意欲のある者、③事業に関心のある者、④センター職員としている。指定管理者制度を導入している6施設(楠葉・津田・御殿山・菅原・さだ・牧野)においては、指定管理者から負担金20万円を支出し、活動委員として2名参加している。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)										
	市民の生涯学習活動が推進される。	事業に市民が参加する。	市民とセンター職員が連携・協力して地域の特色を活かした生涯学習事業の企画・立案・実施や交流の促進を行う。										
指標設定	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)										
	事業への参加率(募集人数と参加者人数の割合)	活動委員会事業の参加者延べ人数	活動委員会事業の件数										
		単位	%	単位	人	単位	件						
	指標種類	増加することが良いとされる指標											
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	80以上	80以上	80以上	80以上	30,000	30,000	30,000	30,000	90	90	90	90
実績	75				1,963				21				
達成度					7%				23%				
分析	新型コロナウイルス感染症の影響により、事業数・参加者数ともに少ない中でも、実施した企画については、一定の参加率が見られた。				新型コロナウイルス感染症の影響により、実施事業数が圧倒的に少なくなり、それに伴い参加者数も当初の想定より大きく減少した。				新型コロナウイルス感染症の影響により、実施事業数が当初の想定より大きく減少した。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.96
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.10
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	7,445	7,301	6,728		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	734	119	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	8,179	7,420	6,728		
	物件費計	200	200	150	200	75%	
	歳出計	8,379	7,620	6,878			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	0	0	0		
一般財源		8,379	7,620	150	200		

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、生涯学習市民センターの閉館はもとより、集合形式での事業の機会が著しく制限され、活動委員会事業も中止・延期等を余儀なくされた。次年度についても、その影響はあるものと考えられる。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	今後も、各地域の特性を活かした事業や、市民の学びのきっかけとなるような事業に取り組んでいく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	生涯学習事業											
測定年度	2020 (R2) 年度			部	観光にぎわい部			課	文化生涯学習課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4				
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち										
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち										
	実行計画名	17-3.生涯学習活動の支援										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2005 (H17) 年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市立生涯学習市民センター条例、枚方市立生涯学習市民センター条例施行規則及び決裁				
関係補助金名称			サンセット	～	
関係附属機関名称					

事業対象	メインターゲット	生涯学習事業に興味のある市民。
	サブターゲット	
	ターゲットが抱える課題	市民が学ぶ場、その成果を活用する場、つながりの場の環境を整える必要がある。
	ターゲットが抱える課題	

めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	生涯学習事業の企画・立案・実施や交流の促進を行い、市民の生涯学習活動が推進されている。
---------------------------	---

事業概要	<p>□生涯学習事業の推進 他部署との連携事業や美術関連事業等、各生涯学習市民センターを実施場所として各種事業を実施。また、生涯学習市民センターまつりなど実行委員会形式により、市民主体の事業を実施している。</p> <p>□生涯学習施設の運営 生涯学習市民センター(9施設)の利用運営を行い、生涯学習事業、活動委員会事業などの事業を実施している。</p> <p>□枚方市生涯学習推進審議会運営事務 市民や専門家の幅広い意見を聴きながら、生涯学習による市民との協働のまちづくりを進めるために、平成18年4月に枚方市生涯学習推進審議会を設置。現在、審議会は学識経験者、関係市民団体等、計10人の委員で構成している。</p> <p>□枚方市美術施設運営委員協議会運営事務 年3回協議会を開催し、市民ギャラリー、ふれあいホール、御殿山生涯学習美術センター及びびくずはアートギャラリーの企画展及び公募展の企画運営等、美術施設運営に関することについて、専門的な立場から意見をいただいている。</p>
------	---

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)									
		市民の生涯学習活動が推進される。	各種事業に市民が参加する。	各種事業を実施する。									
指標説明		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)									
指標説明		満足度の割合(生涯学習施策推進アンケートより) 【算出式:「満足」「概ね満足」と回答した人数 / 回答者人数 × 100】 項目:「満足」「概ね満足」「やや不満」「不満」	生涯学習事業の参加者数	生涯学習事業の開催数									
指標種類		増加することが良いとされる指標											
指標設定	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	80以上	80以上	80以上	80以上	2,500	2,500	2,500	2,500	55	55	55	55
	実績	51.99				341				20			
達成度		65%				13%				36%			
分析		令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、多くの事業が中止又は延期となり、満足度が低下し、未達成となった。				令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、多くの事業が中止となり、開催できた事業でも定員を減らしての実施であったため、目標を大きく下回った。				令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、半数以上の事業が中止となった。			

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	8.69
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	6.19
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	14.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	41,396	66,007	61,233		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	13,475	15,774	16,002		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	304		
	人件費計	54,871	81,781	77,539			
	物件費計	17,428	155,420	14,543	17,600	83%	
	歳出計	72,299	237,201	92,082			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	1,120	2,621	1,917	5,113		
	歳入計	1,120	2,621	1,917	5,113		
一般財源		71,179	234,580	12,626	12,487		

5. 総括的分析

総括的分析	令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、多くの事業が中止又は延期となった。満足度については、個別事業実施のアンケートによるものではないことから、目標値に至らなかったと考えられる。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、市民の生涯学習の機会提供のため、各種事業を行う。 また、生涯学習市民センターにおいて適切な施設運営がなされているかの確認をモニタリング等において行う。 生涯学習推進審議会においては、引き続き、生涯学習市民センターのあり方について、意見を求めるとともに、基本指針を検証し、生涯学習施策の推進に取り組む。 美術施設運営委員協議会においては、美術関連事業について、専門的見地から様々な意見・提言等をいただく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	朝鮮語教室運営事業													
測定年度	2020(R2)年度				部	観光にぎわい部				課	文化生涯学習課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち											
	施策目標		17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち											
	実行計画名													

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業								
事業期間	1974(S49)年度			年度	~	年度まで							
根拠法令等	枚方市朝鮮語教室設置要綱												
関係補助金名称											サンセット	~	
関係附属機関名称													
事業対象	メインターゲット	朝鮮語の学習、朝鮮の歴史、文化等を学びたい市民。											
	サブターゲット												
	ターゲットが抱える課題	朝鮮語の学習や朝鮮の歴史、文化等を学べる機会が少ない。											
	ターゲットが抱える課題												
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	朝鮮語を学ぶことで隣国に対する理解を深めることができ、多文化共生社会を醸成するとともに、国際交流の推進が図られている。												
事業概要	朝鮮語の学習だけでなく、DVD鑑賞、民族音楽鑑賞、詩の朗読会、料理教室等文化、風俗、習慣等を含めた授業を40回開催する。なお、中級クラスの受講者数が伸び悩んだことから平成27年度からは初級クラス(1クラス)のみの募集・開催としている。												

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		朝鮮語を学ぶことで隣国に対する理解を深めることができる。				朝鮮語の学習、朝鮮の歴史、文化等を学びたい市民が教室に参加する。				朝鮮語教室を開催する。			
指標設定	指標説明	満足度(アンケートにより) アンケートにより満足であったと回答した割合。 【算出式:「満足」「概ね満足」と回答した人数 /回答者人数×100】 項目:「満足」「概ね満足」「やや不満」「不満」				朝鮮語教室の受講者延べ人数				朝鮮語教室の開催数			
	指標種類	増加することが良いとされる指標											
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	80以上	80以上	80以上	80以上	1,400	1,400	1,400	1,400	40	40	40	40
	実績	0				418				22			
	達成度												
分析	新型コロナウイルス感染症の影響により、年度途中で事業が中止となり、アンケートを実施できなかったため、分析不能。				新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年5月8日から7月16日、令和2年12月11日~令和3年3月5日は開催中止したため、目標を大きく下回った。				新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年5月8日から7月16日、令和2年12月11日~令和3年3月5日は開催中止したため、目標を大きく下回った。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.05
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	2,465	401	399		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	2,465	401	399		
	物件費計	0	0	0	0	—	
	歳出計	2,465	401	399			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	0	0	0		
	一般財源	2,465	401	0	0		

5. 総括的分析

総括的分析	本事業は教育委員会の社会教育事業を文化生涯学習課が補助執行として実施している。アンケートは取れなかったが、参加者の講座の出席率が高いことから、満足度の高い事業が実施できたと判断できる。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き多文化共生社会の醸成と国際交流の推進を図っていく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	メセナひらかた会館施設維持管理事業						
測定年度	2020(R2)年度	当初	部	観光にぎわい部	課	文化生涯学習課	
市長公約との関係	所信表明	市政運営方針	R2	R3	R4		
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち					
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち					
	実行計画名						

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務		
事業期間	1992(H4)年度	年度	～	年度まで			
根拠法令等	枚方市立メセナひらかた会館条例・枚方市立メセナひらかた会館条例施行規則						
関係補助金名称				サンセット	～		
関係附属機関名称							
事業対象	メインターゲット	メセナひらかた会館の利用者					
	サブターゲット						
	ターゲットが抱える課題	市民の文化活動や学習活動等のための充実した活動場所の提供が必要である。					
	ターゲットが抱える課題	メセナひらかた会館を利用する利用者が、安全に利用できるよう必要な施設保全や保守点検等を実施する必要がある。					
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	メセナひらかた会館の利用者が施設を安心して安全快適に利用でき、文化活動等が活性化される。						
事業概要	平成18年度より指定管理者制度を導入、民間事業者のノウハウの活用により、市民サービスの向上と経費の削減を図っている。2019年度～2020年度の2年間、京阪ビルテクノサービス(株)が指定管理者として管理運営を行っている。						

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)	メセナひらかた会館が適正に維持管理され、文化活動等が活性化される。				インプット (活動)	必要な保守点検等を実施する。			
指標設定	指標説明					修繕料、補修工事費に係る当初予算額に対する決算額の割合 【決算額/当初予算額×100】					必要な保守点検数の実施予定回数				
	指標種類	単位				単位				%					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標 (見込み)					100以内	-	-	-	88	-	-	-		
	実績					0				161					
	達成度									183%					
分析					施設、備品に修繕の必要が生じたものもあったが、指定管理者が適切に修繕をおこなったため、市が別に支出する修繕はなかった。				施設の管理運営に支障が出ないよう、適切に保守点検を実施した。						

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.45
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	3,578	2,806	3,589		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	3,578	2,806	3,589		
	物件費計	103,241	95,847	316,960	191,067	166%	
	歳出計	106,819	98,653	320,549			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	21,149	15,455	6,575	23,840		
	市債	0	0	100,500	77,100		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	21,149	15,455	107,075	100,940		
	一般財源	85,670	83,198	209,885	90,127		

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の影響で貸館事業が出来ない期間もあったが、利用者に注意喚起を行うなど、感染防止に取り組み、指定管理者と連携をとりながら貸館業務を行った。また、施設や備品に修繕が必要なものが生じた場合は、指定管理者を通じて適切に処理をした。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	廃止
今後の取組方針	メセナひらかた会館は令和3年4月より、総合文化芸術センターの別館として位置づけ、総合文化芸術センター施設維持管理事業に統合する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	市民会館施設維持管理運営事業											
測定年度	2020(R2)年度			部	観光にぎわい部			課	文化生涯学習課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4				
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち										
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち										
	実行計画名											

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務								
事業期間	不明			年度	~	年度まで							
根拠法令等	枚方市市民会館条例												
関係補助金名称												サンセット	~
関係附属機関名称													
事業対象	メインターゲット	文化・学習などの活動を行う市民											
	サブターゲット												
	ターゲットが抱える課題	市民が文化芸術に触れたり自ら発表したりする機会や場が少ない。											
	ターゲットが抱える課題												
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	利用者が安全・安心して施設を利用できるよう、適切に施設の維持管理できている。												
事業概要	市民会館設置目的を踏まえ、利用者が安全・安心して施設を利用できるよう、適切に施設の維持管理を行う令和2年4月から直営管理を行う(令和3年10月にホール棟、令和4年3月に本館を廃止する予定)												

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル						市民会館が適正に維持管理されている。				必要な保守点検等を実施する。			
指標設定	指標説明					修繕料、補修工事費に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【算出式: 決算額/当初予算額×100】				必要な保守点検及び修繕を実施する。			
	指標種類	単位				単位 %				単位			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					50	50	-	-	-	-	-	-
	実績					13				77			
	達成度												
分析					維持管理に必要な修繕や工事等を適切に行ったが、物品の購入として処理する等の対応を行ったため、修繕料、補修工事経費は少なくなっている。				定期点検等の実施することが決められた点検から突発的な修繕まで適切に行った。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	2.50
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	5,168	4,009	16,846		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	5,168	4,009	16,846		
	物件費計	102,752	87,240	65,863	97,950	67%	
	歳出計	107,920	91,249	82,709			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	6,768	11,022		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	0	6,768	11,022		
	一般財源	107,920	91,249	59,095	86,928		

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の影響で貸館事業が出来ない期間もあったが、利用者に注意喚起を行うなど、感染防止に取り組み、業務委託業者と連携をとりながら貸館業務を行った。また、照明や消防設備等に交換・修繕が必要なものが生じたが、適切に処理をした。また、特定建築物定期調査において、大ホール棟の外壁タイルの劣化が指摘されたため、落下防護ネットを設置する工事を進めた。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	廃止
今後の取組方針	老朽化している施設のため、令和3年度末の貸館廃止までの期間について、利用者に影響が出ないよう、緊急度等を踏まえ維持管理業務に取り組む。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	総合文化施設整備事業(文化生涯学習課)											
測定年度	2020(R2)年度			部	観光にぎわい部			課	文化生涯学習課			
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4				
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち										
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち										
	実行計画名	17-1.総合文化芸術センターの整備と市民文化の発信										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2000(H12)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	決裁、枚方市総合文化芸術センター条例				
関係補助金名称			サンセット		~
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市内で文化芸術を鑑賞・体験する機会を求めている市民			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	文化芸術を享受するため、大阪市内や京都市内へ足を運ばなければならない。よって、文化芸術に関心がある人(やその子ども)しか、文化芸術に触れる機会が得られない。			
	ターゲットが抱える課題	年代や関心の違いによって、求める文化芸術のジャンルがさまざまである。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	様々なジャンルの優れた文化芸術に触れる機会を作ること、幅広い年代の方が、枚方市内でそれぞれのニーズに合った文化芸術を享受することができる。また、枚方市内でそうした機会を作ること、文化芸術にあまり関心なかった人(やその子ども)も、文化芸術に触れる機会が得られる。				
事業概要	<p>集客と賑わいを創出する新たな文化芸術の拠点施設として、優れた実演芸術の公演や、日常練習や発表などの市民の文化芸術活動の場となる総合文化施設を整備する。</p> <p>平成30年度～令和2年度 建設工事 令和元年度～令和2年度 指定管理者選定 令和3年度 開館</p>				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
	幅広い年代の方が、枚方市内でそれぞれのニーズに合った文化芸術を享受することができる。	様々なジャンルの優れた文化芸術に触れる機会がある。				総合文化施設が整備される。							
指標説明	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
	来館者数	総合文化芸術センターの自主事業数				総合文化芸術センターに係る工事契約の執行累計額の割合							
指標設定	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	0	200,000	304,000	304,000		50	100	100	100	—	—	—
	実績	0								36			
	達成度									64%			
分析	-				-				予算額:8,374,108,000円 実績額:5,371,556,515円				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	2.05
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	13,119	16,435	16,349		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	13,119	16,435	16,349		
	物件費計	1,099,339	1,029,738	6,172,313	9,387,217	66%	
	歳出計	1,112,458	1,046,173	6,188,662			
歳入	国庫支出金	0	0	215,000	369,277		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	3,783,700	6,017,000		
	その他	0	0	1,621,156	1,626,608		
	歳入計	0	0	5,619,856	8,012,885		
	一般財源	1,112,458	1,046,173	552,457	1,374,332		

5. 総括的分析

総括的分析	施設の竣工は令和2年度末予定であったが、新型コロナウイルスに伴う工事の一時中止及び外構部で発見された地中埋設物の対応が必要となったため、令和3年5月末となった。 令和2年度は令和3年9月オープンに向け、指定管理者と市で開館準備業務等の準備を行った。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	見直し
今後の取組方針	令和3年5月末で建物が竣工したため、今後は施設の来場者数や、稼働率、自主事業等の各目標のもと実施していく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	くずはアートギャラリー運営補助事業											
測定年度	2020(R2)年度			部	観光にぎわい部			課	文化生涯学習課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4				
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち										
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち										
	実行計画名											

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業		
事業期間	2005(H17)年度		年度	~	年度まで		
根拠法令等	決裁						
関係補助金名称	くずはアートギャラリー運営補助金			サンセット	2017(H29)年度	~	2020(R2)年度
関係附属機関名称							
事業対象	メインターゲット	絵画や工芸作品など美術工芸作品を展示発表する人					
	サブターゲット	絵画や工芸作品の創作を生業とする美術家					
	ターゲットが抱える課題	身近に作品を展示・発表する場がないこと					
	ターゲットが抱える課題						
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	身近に作品を展示・発表する場があることが創作意欲につながり、市民の文化芸術活動が活性化すること						
事業概要	市、京阪電鉄、枚方市文化国際財団の三者のパートナーシップにより運営を行っている「くずはアートギャラリー」に運営補助金を交付する。						

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		市民の文化芸術活動が活性化する。				「くずはアートギャラリー」が運営される。				くずはアートギャラリー運営補助金を交付する。			
指標説明		くずはアートギャラリー使用者の満足度				くずはアートギャラリーの年間使用可能枠数(104枠)に対する全体利用(一般利用+行政利用+空き室対策利用)の割合				くずはアートギャラリー運営補助金の交付件数。			
指標設定	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				単位 件			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	70	-	-	-	70	-	-	-	1	-	-	-
	実績	91.30				27.40				1			
	達成度	130%				39%							
分析		アンケートからは設備の清潔感や、係員の対応の良さを褒める意見が見られたことから、それらが利用満足度を高めたと考えられる。				新型コロナウイルス感染症の影響により開館日数が大幅に減少した。							

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.10
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	1,193	802	798	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	1,193	802	798	
	物件費計	17,061	17,858	19,249	19,249	100%
	歳出計	18,254	18,660	20,047		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	18,254	18,660	19,249	19,249	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の影響により、実績は少なくなりましたが、利用満足度は高く、利用者の希望に沿ったサービスを提供できたと言える。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	廃止
今後の取組方針	枚方市文化国際財団が令和3年3月末に解散することに伴い、本事業は廃止する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	市民企画イベント促進事業										
測定年度	2020(R2)年度			部	観光にぎわい部			課	文化生涯学習課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4			
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2006(H18)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	枚方市市民企画イベント促進事業実施要綱				
関係補助金名称	市民企画イベント促進事業補助金	サンセット	2019(R1)年度	~	2021(R3)年度
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市内において、文化芸術の振興に資すると認められる事業を実施しようとする者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	資金不足、広報力の不足、会場確保の確保が困難であるということ。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市民(団体)が、希望する会場で、文化芸術事業を企画・実施できている。				
事業概要	市内において、文化芸術の振興に資すると認められる事業を実施しようとする者に対して、事業に要する経費に対する補助等の支援を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		文化芸術事業に多くの市民が参加している。				市民の手によって文化芸術の振興につながる事業が実施される。				市民企画イベント促進事業補助金を交付する。			
指標設定	指標説明	各事業の参加者数の合計				支援決定団体が実施した事業の合計日数				支援決定団体数			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	150	150			3	3			3	3		
	実績	24				1				1			
	達成度	16%				33%				33%			
	分析	新型コロナウイルス感染症流行の影響により、想定より人数が少なくなった。				新型コロナウイルス感染症流行の影響により、想定より日数が少なくなった。				新型コロナウイルス感染症流行の影響により、想定より団体数が少なくなった。			

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.25
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	1,988	2,004	1,994	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	1,988	2,004	1,994	
	物件費計	238	364	0	0	—
	歳出計	2,226	2,368	1,994		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	2,226	2,368	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症流行のため、事業への申請を見合わせる団体もあったが、支援の決定を行った団体については感染対策を行いながら事業を実施することができた。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	新型コロナウイルス感染症の影響がなければ、目標を達成できる見込みがあるため、現状のまま取り組みを進める。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	市民ギャラリー運営事業											
測定年度	2020(R2)年度			部	観光にぎわい部			課	文化生涯学習課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4				
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち										
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち										
	実行計画名	17-1.総合文化芸術センターの整備と市民文化の発信										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1980(S55)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	枚方市立生涯学習市民センター条例、枚方市立生涯学習市民センター条例施行規則				
関係補助金名称			サンセット		~
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	出展者。			
	サブターゲット	市民ギャラリーの来場者。			
	ターゲットが抱える課題	市内に創作活動の発表と美術鑑賞の場が少ない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	適切に市民ギャラリーの運営ができており、美術作品の発表、鑑賞の場として、市民の美術文化の向上につながっている。				
事業概要	市民に美術作品の発表及び美術鑑賞活動と文化交流の場としてギャラリーを設置し、市民の利用に供している。 ※市民ギャラリーは総合文化芸術センターの開館と同時に廃止する。(2021年9月末)				

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		市民の美術文化の向上につながる。				一般利用の展示会に市民が来場する。				創作活動の発表と美術鑑賞の場として一般利用の展示会を開催する。			
指標説明		市民ギャラリー利用率				市民ギャラリーでの一般利用の展示会来場者数				市民ギャラリーでの一般利用の展示会開催数			
		単位		%		単位		人		単位		回	
指標種類		増加することが良いとされる指標											
指標設定	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	90以上	90以上	—	—	60,000	30,000	—	—	90	45	—	—
	実績	48.39				11,141				29			
達成度		54%				19%				32%			
分析		コロナによる緊急事態宣言発出のため、4月～6月、12月～2月の間休館となり、主催事業を含む展覧会が中止又は延期となったことにより利用率が低くなった				コロナによる緊急事態宣言発出、4月～6月、12月～2月の間休館となったこと、主催事業を含む展覧会が中止又は延期となったこと等により来場者が減少した。				コロナによる緊急事態宣言発出のため、4月～6月、12月～2月の間休館となったため、主催事業を含む展覧会が中止又は延期となったことにより展示会の開催が減少した。			

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.47
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.10
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	7,424	3,476	3,439		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	612	119	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	8,036	3,595	3,439		
	物件費計	44	21	24	44	55%	
	歳出計	8,080	3,616	3,463			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	7	0	0	0		
	歳入計	7	0	0	0		
一般財源		8,073	3,616	24	44		

5. 総括的分析

総括的分析	コロナによる緊急事態宣言発出等により、展示会が中止又は延期となり開催数が減少したが、アンケートの結果から、展示会に来場された大半の方に満足していただけたといえる。市民ギャラリーは令和3年9月末をもって閉館となるが、閉館までの施設運営を適切に行う。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	終了
今後の取組方針	市民ギャラリーは令和3年9月末をもって閉館となり、閉館後の施設等の運用・活用について検討する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	文化芸術創造拠点形成事業											
測定年度	2020 (R2) 年度			部	観光にぎわい部			課	文化生涯学習課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4				
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち										
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち										
	実行計画名	17-1.総合文化芸術センターの整備と市民文化の発信										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2019 (R1) 年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	~

関係附属機関名称	文化芸術振興審議会											
----------	-----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業対象	メインターゲット	【文化芸術アドバイザーの提案事業】【大阪フィルハーモニー交響楽団との連携事業】【アート・sproutシリーズ パフォーミングアーツ】子どもや若い世代、枚方市内で文化芸術を鑑賞する機会を求めている市民 枚方ゆかりの実力ある若手芸術家										
	サブターゲット	文化芸術活動を行っている市民・市民団体等										
	ターゲットが抱える課題	文化芸術は心の豊かさや感受性を育むことにつながるにも関わらず、子どもや若い世代は家庭環境によって、文化芸術に触れる機会に差があること。また、一流のプロの演奏を聴くには、大阪市内や京都市内へ足を運ばなければならないため、経済的事情や身体的事情によって移動が困難な人や、文化芸術に関心がない人は、身近に文化芸術に触れる機会が容易に得られない。										
	ターゲットが抱える課題	文化芸術の発表の場がない										

めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	経済的事情や身体的事情によって移動が困難な人が、身近な場所で文化芸術に触れる機会が増加している。学校や教育委員会との連携により、すべての子どもたちに文化芸術に触れる機会を等しく提供することができる。若手芸術家が地域に貢献していると実感でき、技術力が研鑽され、芸術家としてのキャリアが向上している。 文化芸術活動を行っている市民・市民団体等に「市民総合文化祭」として総合文化芸術センターでの発表の場を提供することにより、市民の文化芸術活動がさらに高まる。また、文化祭として集中して実施することにより、様々な分野の文化芸術に触れるきっかけを創出し、鑑賞者の裾野を広げることにつながる。											
---------------------------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業概要	枚方市文化芸術振興計画に基づき、事業を実施し、文化芸術振興審議会に進捗を管理する。市民が優れた文化芸術に触れる機会の充実や主体的に文化芸術活動を行うことのできる環境整備のため、文化国際財団との共催又は委託による事業のほか、直営で小中学生を対象とした将棋教室を開催。また、文化芸術アドバイザーの提案事業や連携協定を締結したプロのオーケストラ団体との事業を展開する。											
------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		文化芸術に対する市民の関心及び理解が深まる。				身近に文化芸術に触れる機会が作られる。				枚方市文化芸術振興計画に基づき、事業を実施する。			
指標説明		参加者の満足度 アンケート結果で肯定的評価を行った回答率の事業平均				文化事業の参加者数				文化芸術事業の実施回数			
指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
指標設定	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	80	80	85	85	7,660	7,660	10,000	10,000	52	52	100	100
	実績	90				2,200				41			
	達成度	113%				29%				79%			
	分析	参加者のニーズに合った事業を実施できたことが高い評価に繋がったと考えられる。				新型コロナウイルス感染症の影響により事業への参加人数は大幅に減少した。				新型コロナウイルス感染症流行の影響で中止となった事業が多くあったが、一部の事業をWebで行い、事業数の大幅な減少を抑えた。			

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	2.39
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	7.00

※「正職員、再任用、任期付」の person 費については、人員配置をもとに平均 person 費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「person 費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員 person 費」「臨時職員 person 費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は person 費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	5,168	19,161	19,060	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	5,168	19,161	19,060	
	物件費計	133	0	9,171	18,514	50%
	歳出計	5,301	19,161	28,231		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	920	
	歳入計	0	0	0	920	
一般財源		5,301	19,161	9,171	17,594	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症流行の影響を受け、アトスプラウト事業をWeb上で行う等の対応をすることで実施事業数自体を大幅に減らすことは抑えられたが、オフラインで行う事業が大幅に減少したため、事業の参加人数も大幅に減少してしまった。一方でアンケートで肯定的な評価を行った方の割合は90%を超えており、参加者のニーズにあった満足度の高い事業を実施できたと言える。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視しつつ、総合文化芸術センターの指定管理者と連携を図り、事業を実施していく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	文化芸術補助事業														
測定年度	2020(R2)年度				部	観光にぎわい部				課	文化生涯学習課				
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4							
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち												
	施策目標		17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち												
	実行計画名														
1. 事務事業の概要															
種類	市民サービス				特性	選択的事业				区分	一般事務事業				
事業期間	2004(H16)年度				年度	~				年度まで					
根拠法令等	決裁														
関係補助金名称	文化芸術事業補助金								サンセット	2017(H29)年度		~		2020(R2)年度	
関係附属機関名称															
事業対象	メインターゲット		枚方市内で文化芸術を鑑賞・体験する機会を求めている市民												
	サブターゲット														
	ターゲットが抱える課題		経済的事情や身体的事情によって移動が困難な人や文化芸術に関心がない人は、身近に文化芸術に触れる機会が容易に得られない。												
	ターゲットが抱える課題		市民団体などアマチュアが発表する機会が少ない。												
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	身近に安価に文化芸術に触れる機会が増えている。 市民団体のニーズをくみ取りながら、発表の機会を作ることができる。														
事業概要	枚方市文化国際財団が実施する演劇・音楽・映画等の文化芸術事業の実施に係る経費に補助金を交付する。														
2. ロジックモデル及び指標設定															
ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)						
	市民の文化活動の振興が図られる。				身近に文化芸術に触れる機会が作られる。				文化芸術事業補助金を交付する。						
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)						
	参加者の満足度 アンケート結果で肯定的評価を行った回答率の事業平均				文化芸術事業の実施回数				文化芸術事業補助金の交付						
	単位 %				単位 回				単位 回						
	指標種類				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標						
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
	目標 (見込み)		80	-	-	-	17	-	-	-	1	-	-	-	
	実績		84				7				1				
達成度		105%				41%									
分析		市民のニーズにあった文化事業を実施することができたため、満足度が高い結果を得られた。				新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止とした事業が多く、事業回数は減少した。									

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.35
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	795	2,806	2,791	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	795	2,806	2,791	
	物件費計	28,916	26,346	23,499	30,660	77%
	歳出計	29,711	29,152	26,290		
歳入	国庫支出金	0	0	1,932	5,696	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	1,932	5,696	
	一般財源	29,711	29,152	21,567	24,964	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の影響により、事業実施回数は少なくなりましたが、アンケートでは肯定的評価が多く、利用者の希望に沿ったサービスを提供できたと言える。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	廃止
今後の取組方針	枚方市文化国際財団が令和3年3月末に解散することに伴い、本事業は廃止し、総合文化芸術センターの指定管理者へ事業の引継ぎを行う。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	国際交流補助事業													
測定年度	2020(R2)年度			部	観光にぎわい部				課	文化生涯学習課				
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4						
総合計画体系	基本目標	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち												
	施策目標	19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち												
	実行計画名													
1. 事務事業の概要														
種類	市民サービス			特性	選択的事业				区分	一般事務事業				
事業期間	2004(H16)年度			年度	~					年度まで				
根拠法令等	決裁													
関係補助金名称	国際交流事業補助金							サンセット	2017(H29)年度		~	2020(R2)年度		
関係附属機関名称														
事業対象	メインターゲット	国際交流に関心のある市民												
	サブターゲット	市内在住外国人												
	ターゲットが抱える課題	外国語の学習、外国人との交流の機会が得られにくい。												
	ターゲットが抱える課題	日本語の学習環境や、通訳派遣など生活全般のサポート体制が少なく不安。												
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	国際交流に関心のある市民は、関心のある外国語の知識が身に付き、国際交流の機会が得られている。 市内在住外国人は、生活する上で必要な情報が容易に手に入り、安心して生活を送ることができている。													
事業概要	枚方市文化国際財団が実施する次の国際交流事業の実施にかかる経費に補助金を交付する。 ・市民の国際交流活動の支援及び促進事業 ・海外友好都市との友好交流事業 ・国際理解推進事業 ・在住外国人交流事業 ・国際交流に関する調査 ・研究及び各種情報 ・資料の収集並びに提供事業													
2. ロジックモデル及び指標設定														
ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
	市民の国際理解が深まる。				国際交流事業が実施される。				国際交流事業補助金を交付する。					
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
	指標説明	参加者数				国際交流事業の実施回数				国際交流事業補助金の交付				
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標								
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
	目標 (見込み)	5,000	-	-	-	24	-	-	-	1	-	-	-	
	実績	116				7				1				
	達成度	2%				29%								
分析	新型コロナウイルス感染症の影響により事業実施回数が大幅に減少し、結果として参加者数の大幅な減少となった。				新型コロナウイルス感染症の影響により事業実施回数が大幅に減少した。									

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.01
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	1,272	80	80		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	1,272	80	80		
	物件費計	13,628	15,421	12,987	17,266	75%	
歳出計		14,900	15,501	13,067			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	0	0	0		
一般財源		14,900	15,501	12,987	17,266		

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の影響により、事業の実施回数が大幅に減少し、それに伴い、参加者数も大幅な減少となった。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	廃止
今後の取組方針	枚方市文化国際財団が令和3年3月末に解散することに伴い、本事業は廃止する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	ひらかた市民大学開催事業													
測定年度	2020(R2)年度				部	観光にぎわい部				課	文化生涯学習課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち											
	施策目標		19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち											
	実行計画名		19-2.産学公連携の推進											
1. 事務事業の概要														
種類	市民サービス			特性	選択的事業				区分	一般事務事業				
事業期間	2005(H17)年度				年度	~			年度まで					
根拠法令等	決裁													
関係補助金名称								サンセット	~					
関係附属機関名称														
事業対象	メインターゲット		生涯学習を行いたい市民											
	サブターゲット													
	ターゲットが抱える課題		市民が学ぶ場、その成果を活用する場、つながりの場の環境を整える必要がある。											
	ターゲットが抱える課題													
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市内5大学との連携・協力により特色ある各大学の専門的な知識・情報を生かして学習できる講座を市民に提供することで、多様化・高度化する市民の学習意欲に応えることができているとともに、それが生涯学習の推進・生きがいの増進につながっている。													
事業概要	学園都市ひらかた推進協議会事業の一環として、市と大学が連携し、市民向け講座「ひらかた市民大学」を開催。専門的な知識・情報を提供する講座を市内5大学においてそれぞれ1講座実施する。													
2. ロジックモデル及び指標設定														
ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
	生涯学習の推進・生きがいの増進につながる。				「ひらかた市民大学」に市民が参加する。				「ひらかた市民大学」を開催する。					
指標設定	指標説明		満足度(アンケートにより) アンケートにより満足であったと回答した割合。 【算出式:「満足」「やや満足」と回答した人数 /回答者人数×100】項目:「満足」「やや満足」「普通」「やや不満」「不満」の項目で 「満足」「やや満足」				「ひらかた市民大学」の参加者数				「ひらかた市民大学」の開催数			
	指標種類		増加することが良いとされる指標				単位				人			
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)		90以上	90以上	90以上	90以上	200	200	200	200	5	5	5	5
	実績		93.48				101				2			
	達成度		103%				50%				40%			
	分析		実施回数、参加人数は目標には達しなかったが、参加者の満足度の高い事業が実施できた。				令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2大学でのみの事業実施であった。密を避けるため、定員を例年より少なくした大学もあったため、目標には達しなかった。				令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施希望のあった2大学でのみの実施となった。			

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.23
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の person 費については、人員配置をもとに平均 person 費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「person 費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員 person 費」「臨時職員 person 費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は person 費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	1,750	1,844	1,834	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	1,750	1,844	1,834	
	物件費計	0	0	0	0	—
	歳出計	1,750	1,844	1,834		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	1,750	1,844	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業開催数、参加者数は少なくなりましたが、参加者アンケートでは満足度が高く、市民の学習意欲に応えた事業が実施できたといえる。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	参加者の増加に向け、周知方法等について検討を行うとともに、各大学の特色を生かした上で、身近で話題性のあるテーマ、講座内容を各大学と協議・検討しながら、市民生活に役立つ魅力的な事業となるよう取り組みを進める。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	子ども大学探検隊事業											
測定年度	2020(R2)年度			部	観光にぎわい部			課	文化生涯学習課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4				
総合計画体系	基本目標	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち										
	施策目標	19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち										
	実行計画名	19-2.産学公連携の推進										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2004(H16)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	~
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市内小学生			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	市内の小学生が市内5大学について認識していない			
	ターゲットが抱える課題	将来の夢を育む多様なきっかけが必要			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	参加者が大学に親しみを感じ、将来への夢を育むことができる。				
事業概要	学園都市ひらかた推進協議会事業の一環として、市内大学の施設・設備やクラブ活動等への参加体験をする「子ども大学探検隊」事業を実施する。小学生(高学年)対象。市内5大学のうち毎年希望する大学において実施。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)	
	参加者が大学に親しみを感じ、将来への夢を育むことができる。	「子ども大学探検隊」事業に子どもが参加する。	「子ども大学探検隊」事業を実施する。	
指標設定	指標説明	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
	満足度(アンケートにより) アンケートにより満足であったと回答した割合。 【算出式:「とても良かった」「良かった」と回答した人数/回答者人数×100】項目:「とても良かった」「良かった」「ふつう」「あまり良くなかった」「良くなかった」		「子ども大学探検隊」の参加者数	「子ども大学探検隊」の開催数
		単位 %	単位 人	単位 回
	指標種類	増加することが良いとされる指標		
	指標数値	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	目標(見込み)	90以上 90以上 90以上 90以上	250 250 250 250	5 5 5 5
	実績	0	0	0
達成度	0%			
分析	令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業の実施ができなかった。	令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業の実施ができなかった。	令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業の実施ができなかった。	

3. 人員体制 (人)

	R2
正職員(再任用)	0.23
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	1,750	1,844	1,834	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	1,750	1,844	1,834	
	物件費計	0	0	0	0	—
歳出計		1,750	1,844	1,834		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
一般財源		1,750	1,844	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業の実施ができなかった。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	より多くの子どもが参加できるよう、各大学の特色を活かした事業を行い、市民周知に努める。併せてコロナ禍をふまえ、オンライン開催について検討する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	文化生涯学習課運営事務												
測定年度	2020(R2)年度			部	観光にぎわい部				課	文化生涯学習課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外										
	施策目標		99.施策体系外										
	実行計画名												
1. 事務事業の概要													
種類	内部管理			特性	庶務的事務				区分	庶務的内部管理事務			
事業期間	不明			年度	~				年度まで				
根拠法令等	決裁												
関係補助金名称								サンセット	~				
関係附属機関名称													
事業対象	メインターゲット		文化生涯学習課職員。										
	サブターゲット												
	ターゲットが抱える課題		直営施設と指定管理施設があり、それぞれの管理運営を理解したうえで事務を執行する必要がある。										
	ターゲットが抱える課題												
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	事務を滞りなく処理できている。												
事業概要	課の運営業務												
2. ロジックモデル及び指標設定													
ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
	指標説明		単位		単位		単位						
	指標種類												
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)											
	実績												
達成度													
分析													

3. 人員体制 (人)

	R2
正職員(再任用)	1.76
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.25
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	19,748	18,862	13,912		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	489	515	646		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	20,237	19,377	14,558		
	物件費計	1,386	19,001	1,461	2,524	58%	
歳出計		21,623	38,378	16,019			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	0	0	0		
一般財源		21,623	38,378	1,461	2,524		

5. 総括的分析

総括的分析	課の運営に必要な事務について、適切に処理した。
-------	-------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	今後も課の運営が円滑に行われるよう、適切に事務を処理していく。